

「今後の物流政策の基本的な方向性について(答申)」(H27.12) 主な道路関連施策の進捗状況

主な道路関連施策の進捗状況

項目	主な施策	取組状況	備考
1. 道路を賢く使う取り組みの 確実な推進	①道路を賢く使う取り組みの推進	・ETC2.0等のビッグデータを用いたピンポイント対策等を実施中。	
	②高速道路と施設の直結	・民間施設直結スマートIC制度を具体化（平成29年7月）。	
2. ETC2.0の活用	①車両運行管理支援	・ETC2.0のデータを活用した車両運行管理支援サービスの社会実験を実施中（平成28年2月～）。	前回
	②高速道路外の休憩施設等への一時退出	・高速道路外の休憩施設等への一時退出を可能とする実験を全国3箇所で実施中（平成29年度中に全国17か所で追加実施予定）。	
3. 適正通行へのインセンティブ	①特車ゴールド	・ETC2.0装着車への特車通行許可を簡素化する特車ゴールド制度を開始（平成28年1月）。	今回
	②大型車誘導区間	・国際戦略港湾・拠点港湾とのラスト1マイルを大型車誘導区間に追加指定（平成28年4月）。	
	③特殊車両通行許可の自動審査システム	・車両搭載センシング技術を活用した、自動審査システムの強化を実施予定（平成30年度）	

主な道路関連施策の進捗状況

項目	主な施策	取組状況	備考
4. 車両の大型化による効率化・省人化	①ダブル連結トラック	・ダブル連結トラック実験を新東名高速道路を中心とするフィールドで実施中(平成28年11月～)。	前回
	②危険物車両の通行の効率化	・災害時に限定して、石油等を輸送するタンクローリーが長大トンネル等を通行可能とするよう制度改正(平成28年8月) ・平時の長大トンネル等の通行制限の緩和については、長大トンネル等の通行ニーズを調査予定(平成29年度中)。	今回
	③重量規制の見直し	・諸外国の例を参考として、海上コンテナの輸送円滑化のための緩和を検討中。	
5. 過積載等の違反者への厳罰化	過積載等の違反者への厳罰化	・自動重量計測装置を増設予定(平成29年度中)。 ・基地取締り時の荷主情報の聴取を試行開始(平成29年12月)。 ・特車申請時における荷主名の記載を試行開始予定(平成30年1月)。	前回
6. 都市中心部等への流入を抑制するためのマネジメント	関係者協調による手法(Freight Quality Partnership)を活用したマネジメント	・関係者協調による手法(Freight Quality Partnership)を活用したマネジメントの社会実験を検討中(平成30年度)。	
7. 自動運転技術の実用化に向けた検討	トラックの隊列走行	・後続有人での公道における実証実験を開始予定(平成29年度中)。	
8. 「小さな拠点」を核とした新たな輸送システムの構築	中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス	・中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を全国13箇所で順次実施中(平成29年9月～)。	前回
9. 宅配便の再配達削減	道の駅を活用した再配達削減	・道の駅を活用した再配達削減実験を実施中(平成28年10月～)。	今回

※ 上記の他、「今後の維持修繕のための財源の確保」、「先進的・先端的な取組への挑戦」に係る施策も検討中。